

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

JART情報
<http://www.jart.jp>

2021 No.543

3 / 1

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



第36回 日本診療放射線技師 学術大会に際して



本来、第36回日本診療放射線技師学術大会は2020年10月23日(金)から25日(日)までの3日間、仙台市の仙台国際センターでの開催を予定して、2019年から本格的な準備作業に入った。日本診療放射線技師会の全国大会を宮城県で開催することは初めての経験であり、宮城県放射線技師会の理事を中心に実行委員会を立ち上げ、東北地域の(診療)放射線技師会のサポートを受けながら準備を進めた。

大会テーマは、年号が「平成」から「令和」へと変わり、われわれを取り巻く環境も「アナログからデジタルに」「装置機能の多様化」など大きく変化する中、過去の技術を継承しつつ、新しい技術を融合させるための基礎を見つめ直すことを考え「人と技術をつなぐ令和の未来へ」とした。

そこでMART企画では、モダリティーごとにベーシックセミナーと題して、就職5年目までを対象としたセミナーを企画した。従来、このような企画は同時刻に複数の会場で開催されていたが、全てのモダリティーを聴講できるようなプログラムを準備した。また5年目以上の方に向けてもステップアップセミナーや疾患別のシンポジウム、医療法施行規則の改正に伴う研修会など、スキルアップのできる学術大会を目指していた。



大会長あいさつ

ハンズオンセミナーでは、従来通りの「3D」「撮影補助具作成」「CTC」以外に、放射線治療分科会の企画で「患者固定具の作成」を行い、朝はベーシックセミナーに始まり、ステップアップセミナー・ハンズオンセミナー・分科会企画と、一日中、放射線治療だけの会場を設けることも考えていた。

特別講演では、今話題の再生医療の一つである「Muse細胞」を用いた脳梗塞治療や、元東北楽天ゴールデンイーグルスの臨時トレーナーの経験を持つ若松先生をお招きして「スポーツ科学と画像」の企画も考えていた。

教育講演では、今後のわれわれに関係の深い「水晶体の被ばく限度」「AI(読影関連)」を予定し、市民公開講座はピンクリボン仙台推進委員会と共催での企画を検討していた。また機器展示・ランチョンセミナー・スイーツセミナーなどの企業協賛もお願いし、順調に企画・協賛などの準備を進めていた。

学術大会会場である仙台国際センターは交通の便も良く、緑に囲まれて環境も良く、今回の大会規模には申し分のない



会場であり、参加された方々に満足していただけると確信していた。

しかし、2019年12月に中国・武漢市で発生が報告された新型コロナウイルスは世界中に感染が拡大し、日本においても、2020年4月7日に7都府県に緊急事態宣言が発令され、4月16日には全都道府県に拡大された。この状況を受けて、学術大会の開催に関して日本診療放射線技師会理事会で検討を行い、2021年2月への延期も検討されたが、最終的には規模を縮小し全てWebによる開催が決定した。仙台での開催はなくなったが、引き続き宮城県が主体となって開催準備を行う点には変わりがなく、初めてのWebによる開催で戸惑うばかりであった。

これまで検討していた企画に関しては、すでに講師依頼を行っていたが、全て白紙に戻して一から企画内容の検討を行った。また一般演題の募集も終了しており、334題のエントリーがあったが、Webによる発表形式の変更により、再エントリーを行うかの確認作業も併せて行った。

Web開催ならびに規模の縮小により、会長講演、教育講演、JART企画では「タスク・シフト/シェア」「診療報酬改定に向けた技師会からの要望書の課題」「医療放射線安全管理責任者の実情と問題点」「診療放射線技師の働く環境」など、今後のわれわれにとって重要なシンポジウムが、MART企画ではベーシックセミナー、市民公開講座、一般演題の内容で、2021年1月8日(金)から31日(日)までの期間で開催することになった。

一般演題は、PDFによるポスター展示方式、それ以外は動画によるオンデマンド方式とした。学術大会に参加する方はLive配信でないため、自分のタイミングで何度でも視聴することで、より理解を深めることができたと思う。

初めてのWeb開催となったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集まっての実行委員会が開催できず、Webによる会議とメール・LINEを利用して意見交換を行い準備作業を進めていったが、参加登録やログインできない方への対応、領収書の発行など多くの問題点が発生し、年末年始の休みにもかかわらず、安彦実行委員長を筆頭に実行委員の方々に対応していただき、無事に学術大会開催にこぎ着け、



会長講演 (上田会長)



JART企画 (畦元将吾先生)



祝辞 (岸田文雄先生)

大きなトラブルもなく開催することができた。紙面を借りて厚くお礼申し上げる。本当にありがとうございました。

最後に、5千人以上の方に学術大会に参加していただき盛会裏に終えることができた。ご参加いただいた方々にお礼を申し上げるとともに、今後の業務に少しでも役立つことができれば幸いである。

(第36回日本診療放射線技師学術大会 大会長 立花 茂)



常務理事会の様子



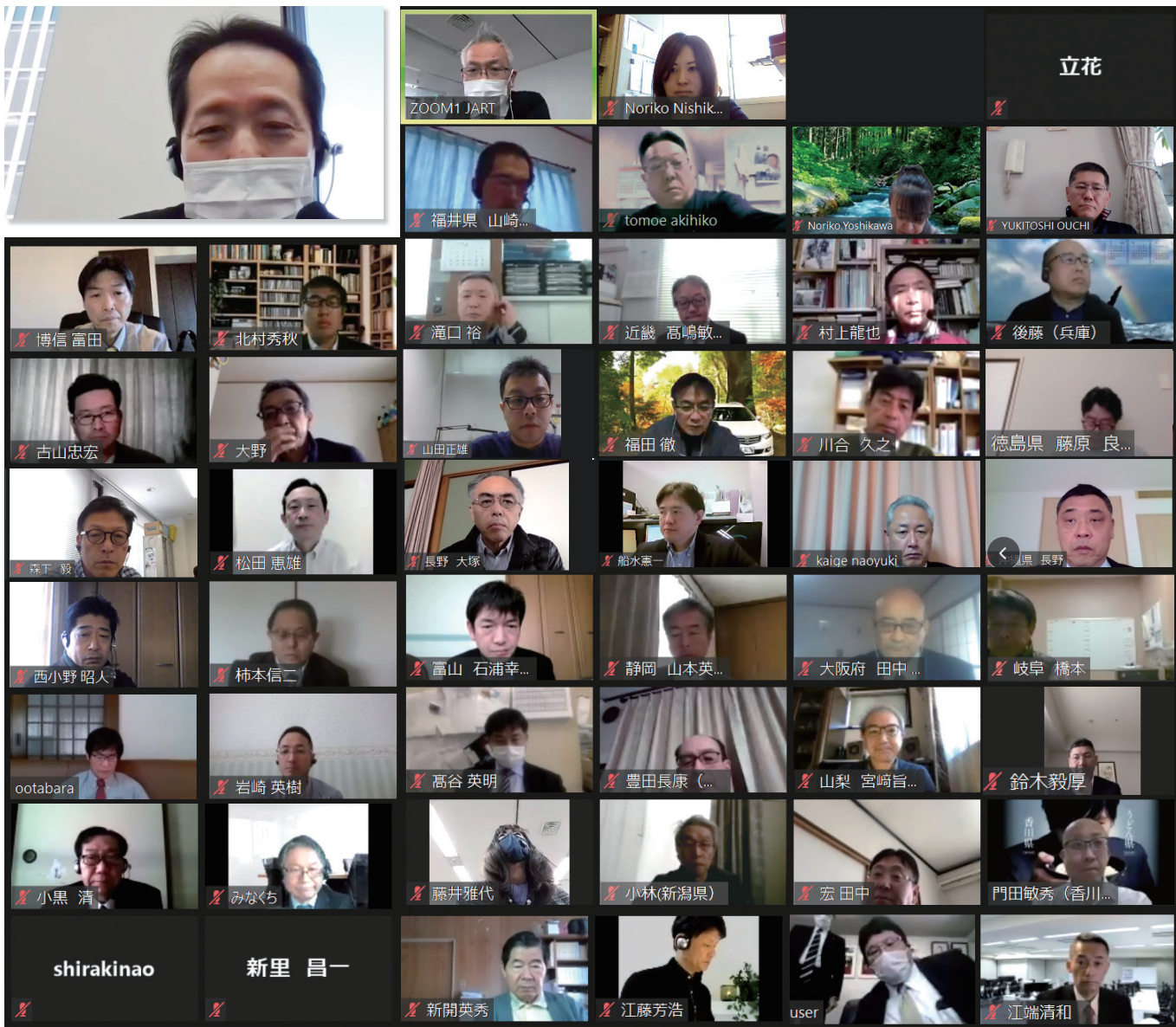
「第36回日本診療放射線技師学術大会」にご参加下さいました皆さま、協力いただいた企業の皆さま、そして当大会の運営に携わってくださった皆さま、誠にありがとうございました。

2020年度 全国地域連絡協議会 (全国会長会議) 開催される (Web開催)

2021年1月30日(土)午前10時より、2020年度全国地域連絡協議会 (全国会長会議) がWeb会議で開催された。

冒頭に上田会長からあいさつがあり、江田理事の進行により議事に入った。議事は「2020年度事業計画の進捗^{しんぱく}について」「タスク・シフト/シェアの推進に伴う既有資格者に対する告示研修について」「2020年度期中往査^{しんさ}について」「JARTISの状況について」「e-ラーニングシステムについて」「統一講習会受講率などについて」「都道府県技師会長および若手会員との懇談会企画について」「アンケート調査への協

力について」「次年度新委員会設置 (JSRT合同委員会・創立75周年記念式典準備委員会) について」「新事務所移転について」「第37回日本診療放射線技師学術大会について」「第36回日本診療放射線技師学術大会報告」であった。さらに各地域の活動を共有する目的で、上田会長から各都道府県技師会の会費について資料に基づき説明があった。また富田副会長からは、論文投稿システムの電子化などの報告と今後について説明があった。新たな告示研修に関連した質疑が多くなされ、活発な意見交換の後、無事閉会となった。



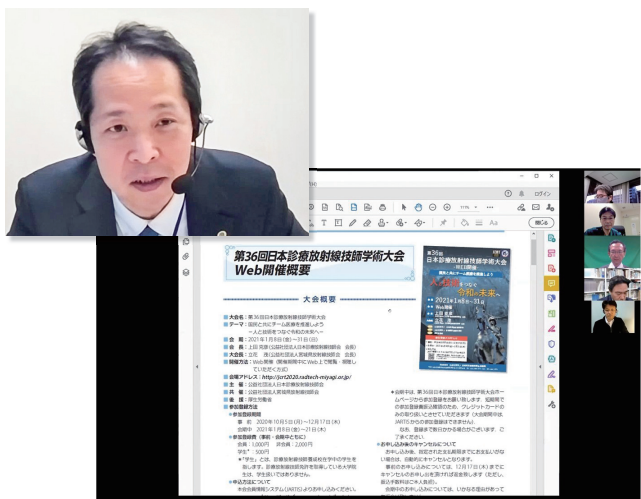
2020年度 第2回 JART-JSRT懇談会 開催される (Web開催)

2021年1月27日(水)午後5時より、2020年度第2回 JART-JSRT (日本放射線技術学会) 懇談会がWeb会議で開催された。JARTからの出席者は、上田克彦会長、江藤芳浩副会長、富田博信副会長、児玉直樹副会長、中村勝業務執行理事、江田哲男理事、江端清和理事、上島隆事務局長。JSRTからは、白石順二代表理事、奥田保男副代表理事、根岸徹副代表理事、梁川範幸理事(学術委員長)、坂本博理事(企画委員長)、岩永秀幸理事(広報・渉外委員長)、田中利恵理事(国際戦略委員長)、中菌誠善事務局長が出席し、懇談会は和やかに開催された。

初めに両会それぞれから報告が行われた。JART報告として、第36回日本診療放射線技師学術大会状況報告と謝辞、第37回日本診療放射線技師学術大会へのご協力について、

タスク・シフト/シェアの推進に伴う既有資格者に対する告示研修について、新型コロナウイルス感染症の医療現場での現状報告がなされた。引き続きJSRT報告として、第77回日本放射線技術学会総会学術大会の進捗状況、第49回日本放射線技術学会秋季学術大会の進捗状況、第78回総会学術大会および第50回秋季学術大会の概要、JSRTにおける新型コロナウイルスの感染拡大防止のための基本方針、中華民国醫事放射學會(TWSRT)第54回学術大会への参加について報告された。

また議題として、JART-JSRT将来構想/JART-JSRT協力体制推進特別委員会について、および2021年度JART-JSRT合同市民公開講座(仙台)について検討された。今後の両会の協力体制が期待される。



2020年度 第2回 JART-JIRA懇談会 開催される (Web開催)

2021年1月19日(火)、2020年度第2回JART-JIRA (日本画像医療システム工業会) 懇談会がWeb会議で開催された。懇談会はJIRAから山本章雄会長、稲葉潔業務執行理事、浜原公幸法規・安全部会長、鍵谷昭典経済部会長、大塚正明事務局長、横田則昭総務部長、JARTから上田克彦会長、江藤芳浩副会長、富田博信副会長、児玉直樹副会長、中村勝業務執行理事、江田哲男理事、江端清和理事、上島隆事務局長が出席して行われた。

冒頭、両会長によりあいさつが交わされ、報告事項として、

JIRAからは、最近のJIRAの活動状況について、経済部報告より経済部におけるトピックス紹介、法規・安全部より最近の医療機器規制の動向について。JARTからは、第36回日本診療放射線技師学術大会の状況報告と謝辞、第37回日本診療放射線技師学術大会への協力について、タスク・シフト/シェアの推進に伴う既有資格者に対する告示研修について、新型コロナウイルス感染症の医療現場での現状について説明された。懇談会は穏やかな雰囲気の中、終了した。

診療放射線技師のための フレッシューズセミナー 開催報告

佐賀県

一般社団法人佐賀県放射線技師会 小濱 義幸 (国立病院機構嬉野医療センター)

2020年12月5日(土)、佐賀県医療センター好生館で2020年度フレッシューズセミナーが開催されました。当初は4月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い2度の延期を経て開催することができました。参加者は全員マスクを着用し、セミナー会場入室前に手指消毒・検温・体調確認を行い、ソーシャルディスタンスを保ちながら、寒い中窓を開放し、3密にならないよう配慮し開催されました。



本セミナーには11人の参加があり、エチケット・マナー、医療安全、医療コミュニケーション、病気の理解(消化器)、感染対策(実習あり)について学びました。

例年と開催時期が異なるため、新入職者も8カ月の経験があり、セミナー内容についての理解も深まったようでした。また日頃から新型コロナウイルスなどの感染予防対策を実施されているようで、感染対策実習での手指衛生・手袋・ガウンの着脱はスムーズに行うことができました。今回のセミナーで学んだ内容を、日々の業務に反映していただければ幸いです。

最後になりますが、参加者およびセミナー開催に尽力いただきました講師の皆さまに感謝し、新型コロナウイルス感染症の終息を祈念し開催報告とさせていただきます。

群馬県

一般社団法人群馬県診療放射線技師会 教育部長 米持 圭太

2020年12月6日(日)、群馬県立県民健康科学大学多目的ホールで「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」が開催された。新人診療放射線技師を対象にした本セミナーは、日本診療放射線技師会と群馬県診療放射線技師会との共催により例年4月に開催している。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により4月の開催を延期し、日本診療放射線技師会より7月に示された「会場型講習会開催ガイドライン(新型コロナウイルス感染対策)」に準じて、密を避けての着席、室内の



換気、マスク着用、プログラムの短縮など、感染防止対策を講じての開催となった。

参加者は、医療機関をはじめ大学院に進学した方も含めて11人であった。講義は例年よりも短縮した内容となったが、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全など、医療従事者に必要不可欠な内容を優先した。すでに医療機関で従事している参加者には、自らのスキルを再確認できる講義内容であった。

今後も社会情勢や感染状況を確認し、Web開催の検討も含めて受講者の安全を優先したセミナーを実施していきたい。



石川県 (Web開催)

公益社団法人石川県診療放射線技師会

本県のフレッシューズセミナーは7月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっていました。その後、Web開催が可能となりましたので、2020年12月10日(木)から13日(日)までの4日間、Web動画配信形式で行いました。他県ではLive配信形式や会場形式も行われていますが、全ての会員施設の行動制限状況を踏まえ、動画配信形式が最善であると判断しました。

内容はほぼ例年通りですが、本年度は新たにMRIの金属チェックの講義を追加しました。条件付きのMRI対応のデバイスが普及したり、3T対応製品情報であったり、担当者は確認作業に苦心されていると思います。新人以外の技師にも役に立つと考え企画させていただきました。

総評としては、遠方からも参加しやすく時間も選ばずに視聴できるため例年より参加者が増えたので、成功したのではないかと考えています。今回使用したYouTubeの統計によると、デバイス別ではスマートフォンからのアクセスが最も多かったです。平均視聴時間・回数・再生率ではパソコンが多いことがわかりました。じっくり講義を聴く場合にはパソコンを利用していると考えられました。

また今回、新人以外の技師の参加者が多く、興味のある講義を選択して受講している様子がわかりました。例年、会場参加するには時間的に厳しい方が受講できたという点で、今回の形式は会員の皆さまの利益になるような方法であると思います。今後もこの経験を生かして教育事業を充実させていきたいと思っています。



	視聴者当たりの 平均視聴回数	平均視聴率 [%]	平均視聴時間 [分:秒]	視聴回数	総再生時間 [時間]
パソコン	4.2	66.3	11:54	77	15.3
携帯電話	3.9	47.4	8:03	99	13.3
テレビ	2.0	2.6	0:20	2	0
タブレット	1.0	51.2	7:18	2	0.2
総合計	2.8	41.9	6:53	180	28.8

秋田県 (Web開催)

公益社団法人秋田県診療放射線技師会 副会長 川又 渉

例年、5月の総会時に開催していたフレッシューズセミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響により一時は開催を断念したが、Webセミナーとして2020年12月18日(金)(午後6時から8時30分まで)に開催でき

た。秋田県では、新入職したフレッシューズのみの参加人数では少ないこともあり、ベテランを対象にしたリフレッシューズセミナーとしても活用している。本年度は、フレッシューズ6人、リフレッシューズ4人の参加

であった。慣れないWebセミナーの運用に苦慮し、また配信元の当技師会研修センターのWi-Fi環境が脆弱なために、接続が途切れるなどのハプニングが生じながらもやり遂げることができた。

内容は、技師会の役割（生涯教育・認定資格）、感染対策、社会人としてのマナー・コミュニケーション、医療安全および総合討論であった。

「診療放射線技師」として働く現場には、さまざまな困難とともに喜びがあります。

あなたが患者だったら...

技師会に入会して情報を得て学んでいる人と、そうでない人、どちらに担当してほしいですか？

「診療放射線技師」として仕事をしていく貴方に技師会への入会が必要です。ともに考え、ともに進んでいきましょう!!

診療放射線技師のためのフレッシュセミナー

毎回、総会時に新人技師のお顔を拝見し、談笑し、技師会の宣伝を行うことが一大イベントとなっていたが、本年度はお顔を拝見することもできず、Webのデメリットを感じた。次回は会場型で開催し、フレッシューズと交流を深めることができるよう、新型コロナウイルス感染症の終息を願う次第である。



熊本県

一般社団法人熊本県放射線技師会 会長 西小野 昭人

2020年12月26日(土)、国立病院機構 熊本医療センター 2F 研修センターホールで2020年度のフレッシューズセミナーを開催致しました。会場は50人程度でも十分なソーシャルディスタンスが取れる広さでした。冬場の開催は初めてで、換気のために窓も開放してのセミナーでしたが、好天に恵まれ、それほど寒くは感じませんでした。

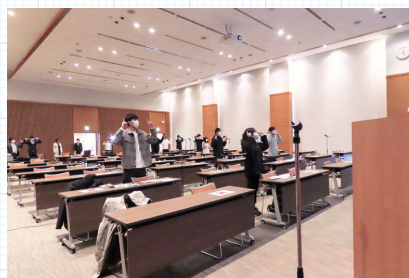
本来、毎年6月に開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受け8月開催を設定致しました。ところが、熊本県では8月に感染者が急増し、まさかの熊本市特別警報の発令でやむなく延期を決定致しました。動向を注視しながら開催時期を模索してまいりましたが、最終的に年も押し詰まった時期での開催となりました。

毎年、30人程度の受講者数で推移していたところでし

たが、本年度は15人と人数はやや少なくなかったものの、全員が真剣なまなざしで受講している姿を見て、心より開催して良かったと思っています。職場の事情で本年度やむなく参加できなかった方もいらっしゃいましたが、来年度にはぜひ参加していただきたいと思います。

内容は「入会案内」に始まり「エチケット・マナー/医療コミュニケーション講座」「医療安全講座」「感染対策講座」「被ばく低減について」「気管支解剖講座」と5時間のセミナーでした。どの講座も講師のオリジナリティーを取り入れていますが、特に「入会案内」では、職能団体の必要性を分かりやすく説明しており、会員数の増加につながっているものと思います。

本年度は計画が二転三転しイレギュラーな開催となり、受講者にもご迷惑をお掛けしましたが、来年度は通常の時期に平穩に開催できることを祈念致します。



診療放射線技師基礎技術講習 「X線CT検査」開催報告

一般社団法人山口県診療放射線技師会 理事（教育） 渡邊 征二

2021年1月17日（日）、パルトピアやまぐち 3階 ホールで基礎技術講習「X線CT検査」を開催した。受講者数は16人であった。

講師の人は山口県CT研究会に依頼し、JARTが提示している学習目標に沿った8科目（各45分、計6時間）の講義と確認試験を行った。

基礎技術講習は、診療放射線技師に必要な基礎知識の再確認を行う講習会として位置付けられており、確認試験も含まれることから、会場参集型の開催形式となっている（すでにe-ラーニング化されているものもある）。

開催に当たっては、マスク着用と手指消毒の励行、ソーシャルディスタンスの確保や換気の実施など『会場型講習会開催ガイドライン（新型コロナウイルス感染対策）』の順守に努め、自家用車で来場している受講者には、各自車内で昼食を取ってもらうようお願いした。

昨年11月以降、再び増加傾向にあった新型コロナウイ

ルス感染症が年明けから全国で急増し、11都府県に緊急事態宣言が発出されるに至った。山口県内においても各医療機関での対応が続く中、何とか講習会を開催することはできたが、懸念事項もあった。

基礎技術講習は全国の診療放射線技師が受講対象者となっており、今回の講習会では県外から6人の参加があった。しかしながら、他県所属の受講者に関する情報を把握するには開催直前に受け取る受講者名簿を確認するか、JARTへ問い合わせるしか手段がないのが現状である。また受講者が順守すべき事項などを具体的に示した指針もないため、受講するか否かの判断は受講者の意志に委ねられている。

いまだ終息を見ないコロナ禍にある今、会場参集形式での講習会については、受講者に対しても何らかの指針を提示する必要があるのではないかと感じた。

成長



早いもので本年度も終盤を迎えています。この1年は“新型コロナウイルス感染症”という言葉を開かない日がなかったほどに、医療界だけではなく、各方面において大変な影響を受けました。日頃より感染拡大防止に努めておられる皆さまに敬意を表するとともに、ウイルスによる何らかの被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

本会では、講習会・セミナーをはじめ、さまざまな事業が中止や延期となる状況でありましたが、先般の宮城県学術大会を含め、遠隔実施も比較的慣れが生じており、今となってはさほど違和感なく受け入れているのではないかと感じます。来年度は日本の診療放射線技師にとって歴史的にも重要な年になるかと思っています。私自身まだまだだと感じる毎日ではありますが、このような浅学非才な私を受け入れていただいた皆さまに感謝

の気持ちを忘れずに、そして技師会関係の皆さまの助けをお借りしながら、一つ一つ乗り越えて大きく成長できるよう努めてまいりたいと思います。

実は、JARTの一理事が意思表明を行う場はあまりありません。コロナ禍で外出が激減し移動時間が削減された分、自分を見つめ直す時間を持つことができるのではないかと考えたところ、このことに気が付きました。

最後に、デスクワークが増加した分、物理的には人間として大きくなったと感じています…。 “コロナに負けない”と“自己管理”をスローガンに、来年度が始まる前にまずは“健康第一”が目標になりそうです。

（文責：西川祝子）

INFORMATION



第37回日本診療放射線技師学術大会
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)
第28回東アジア学術交流大会 (28th EACRT)

第4回 東京への道 Go To TOKYO

副会長 麻生 智彦
(公益社団法人東京都診療放射線技師会)



「江戸 (EDO) へ御座有れ」

第4回は、「江戸」をテーマにご案内することにしよう。江戸といえば徳川家であろう。戦国の時代を安寧な時代に築き上げたことは、誰もが知るところである。この「江戸」という地名の発祥はいつであろうか。語源は「水のあるところ」や「川の入り江のあるところ」という意味らしい。また「江戸」はアイヌ語の岬を意味する「エト・エツ」に由来するという説もあるようで、平安時代後期の武蔵国の江戸氏の一族がルーツとなる説が有力で、歴史書にも「江戸郷」という地名で記されるようになった。



江戸城最古の現存建造物の田安門 (千代田区)



忠臣蔵の討ち入りで有名な吉良邸跡 (墨田区)

さて、時代劇といえば江戸時代を舞台にした『水戸黄門』『大岡越前』『暴れん坊将軍』などのTV番組から、『忠臣蔵』『大奥』『影武者』などの映画に至るまで、数え切れないほどである。さらに最近では、現代と江戸時代をタイムスリップする作品、『幕末高校生』『-JIN- 仁』『江戸モアゼル』など興味深いものがあり、その中でも医療が題材となった『-JIN- 仁』は必見であろう。細かくは語らぬが、江戸時代後期にタイムスリップした主人公 (医師) が出くわすのが「コロリ」という病気 (現代でいうコレラ菌) である。当時はワクチンもなく、治療しなければ患者は数時間のうちに死亡することもあり

疫病として恐れられていたが、現代医学の知識を持った主人公が「病人との隔離」「生ものは食べない」「身体と衣服を清潔にする」など、当時、可能な措置と具体的指示で災難を回避していくのである。そう、ピンときた方もいるかと思うが、感染拡大防止策で、昨年からの問題となっている新型コロナウイルス感染症と状況は一緒であり、何の因果なのか「コロリ」と「コロナ」は一文字違いでもある。

とりわけ、なぜ江戸時代を身近に感じるのか。それは幕末から150年しか経過していないこと、急速に経済や文化が発達したこと、それ故、いまだに数々の史跡が現代にも垣間見られることからであろうか。であれば、ぜひ、皆さまには江戸の歴史を身近に体感いただけるよう、TVや映画を通してイメージとキーワードを持って、江戸 (EDO) にお越しいただきたいと御座候。



江戸の全てが詰まった江戸東京博物館 (墨田区)

学術研究助成金の公募について

INFORMATION

診療放射線学および診療放射線技術の向上に寄与し、診療放射線技師の将来的発展が期待できる研究について、下記の通り公募することになりましたのでお知らせします。

公募期間 3月1日(月)～3月15日(月)【必着】

研究期間 4月1日(木)より1年間

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt000000603l.html

論文投稿システム運用に伴う投稿規程改定の紹介

INFORMATION

2020年11月より論文投稿がオンライン化されました。これに伴い、2020年度第6回理事会で本会が定める投稿規程が一部改定されました。

これまでは「原稿を正副2部提出し、正原稿には電子媒体にて当該データを添付」（旧投稿規程引用）して本会事務局に郵送する必要がありましたが、「オンライン投稿システムを用いて投稿する」（新投稿規程引用）と改定されました。電子化により紙媒体や郵送の手間をなくし、時代に即した形式に変更されています。

投稿規程は毎号会誌に掲載されています。またオンライン投稿ページからも閲覧可能です。上記内容以外にも変更された細かな項目がありますので、会員の皆さまには論文の執筆前に必ずご確認くださいようお願い致します。

なお、具体的なオンライン投稿方法については、**本会会誌2020年11月号**または本会Webサイトトップページ右側のバナー「論文投稿システムはこちらから Editorial Manager」をご参照ください。

本会への入会手続きについて(お知らせ)

INFORMATION

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちらから”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-4226-2211 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。